

幼稚園要覧



♪デュッセルドルフ日本人幼稚園 園歌♪

作詞・作曲 大庭 富美子

1. ラインがわのそばに ぼくらのわたしのようちえん みどりのもりにことりがなくて
うさぎさんもそうだんかい デュッセルドルフにほんじんようちえん
2. ノルトラインヴェストファーレン ぼくらのわたしのようちえん みんななかよくわになっておどろう
アイン ツヴァイ ドライ げんきよく デュッセルドルフにほんじんようちえん

デュッセルドルフ日本人幼稚園 Japanese Kindergarten e.V.

Niderkasseler Kirchweg 108 , 40547 Dusseldorf

Tel:0211 576271

HP:www.japanischerkindergarten.de

Email:japanischerkindergarten.de@gmail.com



本園の概要

園長より

1983年設立から43年間、最適な保育とは？最適な環境とは？考え続けてきました。ヨーロッパには様々な教育法があり学ぶべき点もありました。私は結果的には四季折々の自然には多くの教材があり子どもたちは自ら、小さな生命や草木の成長と果や野菜などの自然の恵みを体験、発見、驚き、感動、癒しという豊かで大きな揺籃（ようらん）に包まれて育つべきだと考えています。それを実現しようと思います。この地の四季折々の自然の流れをしっかりと小さな繊細な子供たちの五感に刻むこと、豊かで大きな揺籃に包まれて育つ子どもたち。それが実現できたならとても嬉しいです。保護者のご家族は、数年のドイツ滞在を終えて母国日本に帰国される方がほとんどです。ドイツ滞在を子どもたちの直接的、具体的な体験を自然の中で築き上げる好機と考えてください。子どもたちはみずから成長する力を誰もが持っています。過干渉にならない。上から目線で子どもたちと接しない。教員は横に並ぶ子どもたちと同等な関係。そこから子どもたちは教員に対して若干上向きの角度をつけて教員を見つめるでしょう。愛情、信頼、興味を持って教員を見上げられる。彼らの持つ思考力、想像力、社会性、探究心は自然と花開くでしょう。そして、感覚的には大人の時間の流れよりも遥かに長い時間を過ごしている子どもたち、自然のなかで自分は育まれているという自覚は、何度も振り返ることができる貴重な思い出として心に残ります。いつでも立ち返ることのできる幸福な扉を開けられる『鍵』を、彼らは手に入られます。日本に帰国されて、再びコンクリートと適温に調整されたビルの一室での生活に戻ったとしても。

人生には思いがけない困難に立ち向かわなければならない時が来るかもしれません。でも、幼児期に幸福の『鍵』を手にした子どもたちは、どんなに辛い時でも大きな自然に育まれた体験から、甘い幸福の香り、暖かな日差し、爽やかな風、ミツバチや羽虫の羽音、枝からもぎ取ったトマトに甘さ、土の感触、五感で感取できます。

人生のどんな辛いと気でも『幸福な逃げ場』がある。それが自然を知ることです。文部科学省が、多くの学校の入学案内に書かれているとおりの教育方針が実現されるならば、日本は独立心があり个性的であり、世界のリーダーになれる若者で満ち溢れているでしょう。

デジタルメディアの普及は、善悪の垣根ですら飛び越えてしまいます。子どもたちに昔から語り継がれている童話を読み聞かせても、最後まで聞き続けられる子どもたちが年々減っているように思えます。瞬発的な刺激性のあるゲームに読書は奪われている気がします。そこで、ぜひ子どもたちの眠る前に、ベッドに寄り添い、世界中の童話を浴びるように読み聞かせ、この豊かな時間を共有してみてください。昔から伝えられた話は、多くの心の栄養素が詰まっています。こどもの興味を引くからこそ、多くの人々に語り継がれて本日まで忘さられることなく残っているのです。善と悪、愛情、勇気、思いやり。勧善懲悪、正しい心、忍耐と努力、昔から伝えられた話は、多くの心の栄養素が詰まっています。子どもたちの心に残るからこそ淘されず本日まで残っています。幼稚園には『世界子ども話』のシリーズがあります。

テレビで放映された古本ですが、自由に貸し出しています。やはり全国にテレビ放映されただけあって、文章も映像もしっかりしています。子どもたちの未来は、AIやSNSが加速度的に進化する時代に突入することは回避できません。しかし、その進化と共存するためにも、お子さんをお預かりする我々教員が、今までの教育のあり方を変え、学び続け、実践を続ける必要があると思います。ホイッスルは使わない体育指導。数年前の甲子園の選抜野球では、長髪で笑顔で野球を楽しんでいる高校が優勝まで勝ち取り、かたや朝練から夜間まで厳しい指導と懲罰を行ってきた甲子園の常勝高校は衰退から廃部。やはり北風より太陽だと思うのです。

保育目標

日本国文部科学省の定める「幼稚園教育要領」の趣旨に基づいて、幼児期の特性や、幼児一人ひとりの成長の様子に合わせて、自然な生活の流れの中に適切な保育環境を設定することにより、意欲あふれた自立的な姿勢や、他者を思いやる社会的な姿勢を育んでいきます。

「知ることは感じることの半分も重要でない」「努力は夢中に勝てない」をモットーに、こどもたちに内在する「自分を育てる力」を引き出していきます。

基本方針

○安心感と信頼関係

日本人幼稚園という特殊な環境だからこそ、園内やクラス的环境をしっかりと整え、幼児が入園したその日から家庭のように安心感をもって生活でき、自分を自由に表現できるようにすることで、教諭との信頼関係を築けるようにしていきます。また、家庭との連携も密に行っていきます。

○思いやりの心

幼児が自分で考えて行動できるように導く中で、思いやりの心をもち、他人に依存せずとも生きることができる力を育んでいきます。

○個々の特性

様々な活動を通して、それぞれがもっている心の感性を伸ばしていき、自然に恵まれたドイツの環境で、動植物と触れ合いながら、太い根を大地にしっかりと張れるような人間性を磨いていきます。

本園の特色

日本人教諭のもと、日本人幼稚園としての特色を十分理解し、緑豊かな自然環境の中、戸外遊びを重視した「のびのび保育」の実施に努めている。また、様々な活動や行事を通して、日本とドイツどちらの文化にも触れられるようにしている。

専任教師による指導（運動、音楽など）や、園庭内の畑や温室、分園での野菜づくりなども行っています。

年間行事予定

- 4月・・・・・・・・入園式・進級式
 クラス懇談会
 個人面談
- 5月・・・・・・・・ヤーパーンターク
 遠足
- 6月・・・・・・・・保育参観
- 7月・・・・・・・・夏祭り
 終業式
- 8月・・・・・・・・始業式
- 9月・・・・・・・・運動会
- 10月・・・・・・・・遠足
 保育参観
- 11月・・・・・・・・作品展
- 12月・・・・・・・・クリスマス会
 終業式
- 1月・・・・・・・・始業式
 お餅つき
 個人面談
 運動遊び参観
- 2月・・・・・・・・節分会
 カーニバル
 生活発表会
- 3月・・・・・・・・クラス懇談会
 お別れ遠足（年長）
 卒園式
 修了式



1日の流れ

8:20~9:00	登園、朝の身支度、好きな遊び
9:30	片付け
9:45	朝の会
10:00	主活動（製作・運動・散策など）
11:00	戸外遊び
12:00	弁当
12:40	好きな遊び

（2歳児は午睡の時間を設けます。）

13:20	帰りの身支度
13:45	降園（2歳児）
13:50	降園（年少組）
13:55	降園（年中組）
14:00	降園（年長組）



課外クラス

運動

基礎体力をつくり、
基本的な運動能力の発達を
援助します。

ピアノ

専任のピアノ教師を招き、
音楽に触れることを楽しめます。
詳細はHPをご覧ください。

ホームクラス (預かり保育)

家庭的で温かい雰囲気、
異年齢とのかかわりを大切に、
安全で楽しく過ごせるよう
にしています。

その他

その他の課外クラスについても
検討中です。
新着のお知らせについては、
HPをご覧ください。

園内環境図

